

# 聖書

教科	科目名	単位数	学年・コース	教科書名	副教材
宗教	聖書	1	高校2年	『聖書(新共同訳)』日本聖書協会	『聖書資料集 キリスト教との出会い』富田正樹、日本キリスト教団出版局

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 旧約聖書の基本的な知識を学ぶ。</li> <li>* 古代イスラエル民族の歴史を学ぶ。</li> <li>* 旧約聖書における人間像から今日の私たちの生き方を考える。</li> </ul>
学習の進め方	授業の内容をよく理解するためには聖書そのものを読むことが重要である。授業の進度に応じて、シラバスの内容を変更することがある。
評価対象・方法	授業の取り組み、定期テスト、提出物、レポートから総合的に判断する。
受講に向けての心構えと準備	聖書を学ぶ上で、救い主＝キリストを預言した旧約聖書を学ぶことは欠かすことが出来ない。体験学習を視野に入れ、「人間の尊厳」と「人間の罪の問題」に焦点を当てて授業を展開する。意欲的に取り組むことで、自分らしく生き生きと生きるために自分自身のあり方を見つめることができる。

	学習事項	学習内容	備考
一学期	旧約聖書の中の世界と人間	創世記を読み進め、聖書の語る人間、その人間に愛をもって関わる神について学ぶ。	
	旧約聖書を読むために	旧約聖書の構造、地理的、歴史的背景を理解する。	
	期末試験		
二学期	イスラエル民族の歴史	イスラエルの族長物語と出エジプトの出来事から、アブラハムなどの族長及びモーセを中心とした旧約における神と人間との関係を理解する。 十戒を通して、ユダヤ教の律法の成立とその精神を理解する。	
	預言者の活躍	イスラエル民族のカナン定住と、王国の成立から、イスラエルの歴史を学ぶ。イスラエル王国分裂から、南北王国滅亡までの歴史と、その前後の活躍した預言者の活躍を学ぶ。時代のただ中に立って神の言葉を伝える預言者について学ぶ。	
	期末試験		
三学期	信仰による文学	文学の形式によって、信仰を表明した「諸書」を学び、信仰について思いを深め、自らの生き方を見つめる。	
	まとめ	一年の学習を振り返り、旧約聖書を通して学んだことをまとめる。	
	学年末試験		